

【教育目標】

- 【知】自ら学び、考え、進んで行動する人
- 【徳】互いを尊重し、協力する人
- 【体】心身ともにたくましく健康な人

杉並区立中瀬中学校  
下井草4-3-29 電話3399-2196

## はなむけの言葉

校長 香西雅斗

科学と自然の散歩みちに桜が咲き始めた今日、三年生は中瀬中学校を卒業します。皆さんは、中瀬中学校の改築が決まった年に入学してきました。入学当初から、持ち前の真面目さで学習に行事に取り組んでいた君たちに、突然訪れた試練がコロナ禍でした。

学校の閉鎖が宣言され、日常が断ち切られました。世界が揺れ動き、先がわからない中、ステーションを強いられました。三か月たち、二年生として登校した君たちの前に現れたのは、マスクに象徴される、制限の厳しい生活でした。学校は、教室の姿すら変わっていました。

一つ上の先輩たちが「この状況でできること、今だからこそできることを見つけよう」と、体育大会や音楽発表会にリーダーシップを発揮する中、君たちは、先輩の後ろ姿に憧れながらも、迷い、足踏みしていたのではないのでしょうか。

そんな君たちが走り始めたのは『理想の生徒像』を、生徒会役員を軸に模索し始めた時からだと思います。三年生になり、その動きは加速され、タブレットのルールを自分たちで考え、学年を越えて「これからの中瀬中にふさわしい服装」を考える話し合いで、リーダーシップを発揮しました。コロナが下火になった二学期には、今でも鮮やかによみがえる体育大会、ダンス、耳に響いている合唱を創り上げたのです。



<3年から1・2年へのメッセージ>

たくさんの人と出会い、助けあって、成長してきた皆さん。皆さんが示した『中瀬生徒憲章～向き合い、認め合い、考えて、輝け～』は、これから五十年後、百年後の中瀬生をも導く、輝く星となることでしょう。

桜の咲き始めた今日、みなさんは中瀬中学校を、巣立っていきます。広い世界に羽ばたいていく君達に、言葉を贈ります。

『この先は、暗い夜道だけかもしれない。それでも信じて進むんだ。星がその道を、少しでも照らしてくれるのを。さあ、旅へ出よう。アゲイン！（アニメ“四月は君の嘘” 宮園かおりの言葉）』

さあ、卒業生諸君。旅立ちの時です。この先は、コロナ・地震・ウクライナとロシア…どうにもならない制限がある、暗い夜道かもしれない。それでも信じて進もう。君が中瀬を照らしたように、この先の暗い夜道を照らす、星となれることを信じて。

未来の君には、君との出会いを待っている仲間が、必ずいます。力を合わせて、世界に起きていることに向き合い、考え、日本の、世界の未来を輝かせてください。大丈夫、君たちならできる。アゲイン！

# 卒業生の俳句紹介

## <学校生活>

少し苦手 三者面談 あの空気 (かずまA)  
 一日に喜怒哀楽が詰まってる (たくむA)  
 席替えてゴチャゴチャ言うな うせえわ (こういちA)  
 教室に四人あ、もう下校時刻 (あかりB)  
 校庭へ 光合成をしに行こう (りゅうのすけC)  
 読書中 届かぬ言葉「先行よ」 (むつきC)  
 給食の 阿中の呼吸 連撃技 (わかなC)  
 下駄箱に 身長足りず 背伸びした (さきD)  
 春秋に 消耗激しい 箱アッシュ (しんじD)

## <仲間・友情>

友達の 恋を応援 青き春 (みゆB)  
 帰り道 みんなと帰り 笑い合う (しょうB)  
 髪の毛を 伸ばしてみるも 不評かな (えいきC)  
 友達の 恋バナなのに キュンとする (さゆC)

## <tetugaku>

三年間 葛藤の日々 乗り越えた (しょうたA)  
 無茶ぶりだ 中学三年 十七音 (けいC)  
 これからは 不安になるの マイライク (コウカウC)  
 思春期に 意外と言えない 行ってきます (りんD)

## <勉強・進路>

受験後に 求めるものは ゲームのみ (まておA)  
 5時間目 眠気に耐えて チャイム待つ (かずきA)  
 ひらめきは 決まってテスト 終了後 (まいA)  
 シェフの道 歩いていこうどこまでも (そらA)  
 英単語 舟漕「我の 子守歌 (まいB)  
 未来へと 募る不安と 期待感 (さきB)  
 「諦める」 言葉忘れた 中三夏 (なずなC)  
 夢のまた 夢を見ている テスト前 (ちかこC)  
 参考書 つい手が伸びる 受験後も (そうすけD)  
 テスト見せ 平均風と 親に言う (かえでD)

## <体育大会>

体育祭 バトン落とし 涙(なだ)落とす (まいB)  
 青空に 広がる歓声 バトンパス (こはるC)  
 はちまきに 願いを込めて 跳ぶ一瞬 (りんD)

## <音楽発表会>

誕生日 もらえたものは 伴奏賞 (ゆたA)  
 3Bの「証」は一生 忘れない (かゆB)  
 音発で 涙こぼれる 大拍手 (まゆC)

## <部・クラブ活動>

二年半 魂込めた ボランティア (けいA)  
 部活後に 友と見上げる 月と星 (りおA)  
 恰好つけ 背伸びしてみた 部活動 (かのかB)  
 何題目 さつきも通った この廊下 (みゆB)  
 球場に 響き渡るは 怒号のみ (はやとB)  
 夏練習 休憩時間に 風浴びる (みさとB)  
 黒髪の人 芝まじり 光る汗 (はやとC)  
 追いかけて ても気づいたら 追われてた(めいD)  
 青空が 涙で霞む 悔しはなし (よういちD)

## <コロナ禍>

中学の 3分の2は デイスタンス (ともかB)  
 しっかりと 朝は忘れず 検閲だ (じょうB)  
 コロナ禍で 心と身体 反比例 (りなB)  
 戸が全開 隣の授業 聞いている (しんたろうC)  
 ああコロナ スキー教室どこやった (ゆうとC)  
 コロナ禍で 遊ぶ手段は オンライン (ゆうきD)

## <?、!>

雨天候 私が祈れば 晴れや晴れ (すなおA)  
 街灯と 二人を繋ぐ 赤バトン (ななみC)  
 愛してる 七十越えの 古ささえ (りょうたD)

17日の予行での在校生よりの『送る言葉』を紹介します。

## 送る言葉

登校中に出会う木々たちが、ほんのりとピンクに色づき始め、いよいよ春の訪れを感じる季節となりました。

三年生の皆様、ご卒業おめでとうございませう。皆さんは、中瀬中学校で過ごした三年間を、どのように振り返っているのでしょうか。

二年前の六月。長い休校期間が明け、戸惑いの中、入学してきた私達を、皆さんは暖かく迎え入れてくださいました。今思えば、同じ不安を抱えていながらも、私達、そして学校全体を明るく照らし続けてくださった皆さんは、あの頃から強く、私たちの目指すべき存在だったのだと思います。そして私達は、その姿から多くのことを教えていただきました。

先輩方の気迫を肌で感じた体育大会。学年関係なく声を枯らして応援する姿や、制限がある中でも盛り上げようとする姿は、胸に響くものがありました。特に印象に残っているのはメラのダンスです。マスクを外して力強く踊る皆さんの表情は、ありつたけの笑顔でした。その笑顔は、何よりもキラキラとしていて、思わず見入ってしまったことを今でも覚えています。心を一つにすれば、どんな状況でも輝けることを教えてくださいました。

音楽発表会では「本気」を見せつけられました。美しく、堂々とした、本気の歌声。同じ練習期間とは思えないほど

ど、私達とはまるでレベルが違います。先輩方の思いが、それだけ歌に込められていたのだと思います。圧倒されると同時に「音楽の中瀬の伝統の重さを強く実感しました。」

皆さんには、部活や委員会活動でもお世話になってきました。普段の生活から、責任をもって積極的に行動し、常に大きな背中の中瀬中を牽引してくださる皆さんは、私達の憧れです。

そんな先輩方が卒業された後の中瀬中。私には、うまく想像ができません。しかし、先輩方が築き上げてきた伝統を守り、土台を基に、新たな中瀬の道を切り拓いていくことが、私達の務めです。寂しさは募りますが、先輩方の思いをしっかりと受け継ぎ、精一杯努めてまいります。

皆さんが見つめる先には、どのような未来が待っているのでしょうか。きっとどの道も平坦ではないと思います。立ち止まりそうになった時には、中瀬中で培った経験やかけがえのない仲間を思い出してください。それを心の支えとし、夢に向かって羽ばたいて行ってください。私達は、それぞれの人生を歩んでいかれる皆さんを、いつまでも応援しています。

今まで、本当にありがとうございました。皆さんのご健康とご活躍をお祈りし、送る言葉とさせていただきます。

令和四年 三月十七日

在校生代表 小野 桐佳

